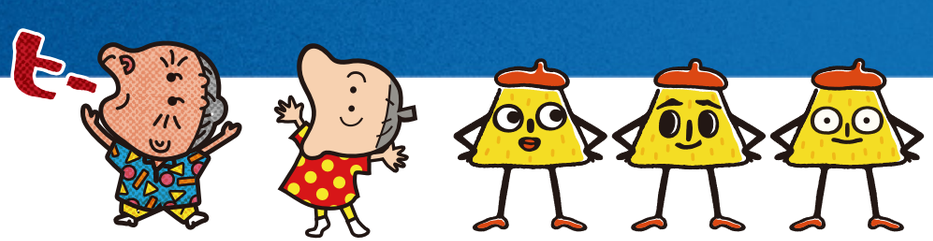
KOIKEYA

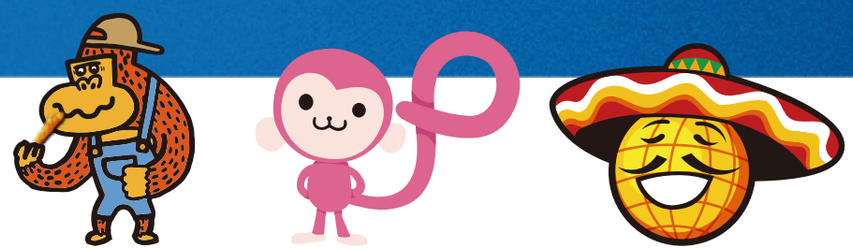
環境・CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

2026



KOIKEYA SDGs



Contents



はじめに 1

湖池屋の歩み 2

食の安全・安心への取り組み 3

商品を通じたSDGs活動 5

地域の方々との取り組み / 食育への取り組み 8

環境への取り組み 9

従業員との関わり 11

湖池屋の企業情報 13

環境・CSR報告書について

【対象期間】年間実績データは、2025年度（2025年4月～2026年3月）についての報告書であり、一部対象期間外も含まれています。
【対象範囲】本報告書の対象組織は湖池屋の国内事業となります。湖池屋の海外事業、外部協力工場は除いています。
※本報告書に記載したデータは断りなく変更する可能性もありますのでご了承ください。



代表取締役会長
小池 孝



代表取締役社長
佐藤 章

湖池屋は「食でくらしをゆたかに」をテーマに、
持続可能な社会を目指し、
食を通じたSDGs活動を推進していきます。

湖池屋の環境理念

私たち株式会社湖池屋は、独創的で心の満足度の高い商品、サービスを提供するとともに、
地球環境、人々の健康、豊かな社会づくりに貢献します。

湖池屋の環境行動指針

1. 環境関連法規及びその他の要求事項を遵守するとともに、自主基準を設定し、
   事業活動に取り組みます。
2. 事業活動による廃棄物の削減及び再資源化、省資源、省エネルギーを推進するとともに、
   地球環境に負荷を与える物質の削減に取り組みます。
3. 環境に配慮した原料・資材調達、商品開発、生産に努めます。
4. 環境保全のための社会貢献活動に取り組みます。
5. 環境教育を通じ、環境保全に対する意識向上を図るとともに、全社員が環境意識を持って行動します。

湖池屋の歩み

1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

1953 株式会社湖池屋創業





1962 「ポテトチップス のり塩」発売



1967 日本で初めてポテトチップスの量産化に成功



1969 馬鈴薯契約栽培スタート

1970 関東工場設立

1984 「カラムーチョ」発売



1986 京都工場設立

1987 「スコーン」発売



1990 「ポリンキー」発売



1993 「すっぱムーチョ」発売



1994 「ドンタコス」発売



1997 「ピンキー」発売



2004 JASDAQ上場（現東京証券取引所スタンダード市場）

2005 関東第二工場設立

2006 台湾湖池屋股份有限公司設立



2009 森林保全活動推進の開始
JAふらの業務提携
シレラ富良野工場設立

2011 日清食品ホールディングス(株)と業務・資本提携



2015 日清湖池屋（中国・香港）有限公司設立

2016 コーポレートブランドを再編し株式会社湖池屋に統一
コイケヤベトナム設立



2017 「湖池屋プライドポテト」発売



2018 「湖池屋JAPANPRIDEプロジェクト」始動
「湖池屋ストロング」、「ピュアポテト」発売







2021 湖池屋SDGs劇場「サスとテナ」放映開始
防災スナックの開発

2022 東京証券取引所スタンダード市場に移行

2023 原宿本社設立二本社体制へ



2025 中部工場設立

2025 KOIKEYA AMERICA INC.設立

1953 → 2026

食の安全・安心への取り組み

湖池屋はお客様に安全・安心な商品をお届けするため、食品安全・品質方針に基づき、原材料の調達から製造、流通、販売に至るまでの全ての部門において、安全・安心な商品作りに取り組んでいます。

湖池屋 食品安全・品質方針

Ⅰ 【お客様志向】お客様の立場で考え『健康』『おいしい』『楽しい』『満足度の高い』商品・サービスを提供します。

Ⅱ 【法令遵守】法規制、食品安全に関する要求事項を遵守し、信頼していただける商品・サービスを提供します。

Ⅲ 【SDGs】商品づくりの中で地球環境、人々の健康を意識し、社会に貢献します。

Ⅳ 【安全・安心】食品安全マネジメントシステムを構築し、安全で安心な商品・サービスを提供します。

Ⅴ 【コミュニケーション】社内外のコミュニケーションを充実させ、品質の向上に努めると共に商品情報を的確に提供します。

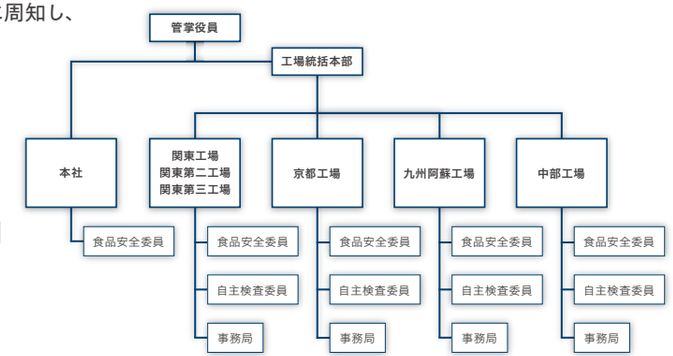
Ⅵ 【継続的改善】食品安全目標を設定し取り組むと共に、マネジメントレビューを通じ継続的に改善を行います。

Ⅶ 【教育】従業員の食品安全に関する技術、知識、経験などの維持・向上のため、継続的な教育・訓練を行います。

Ⅷ 【啓蒙活動】食品安全・品質方針を全従業員に周知し、社外にも広く発信します。

KOIKEYA

湖池屋
食品安全委員会組織図

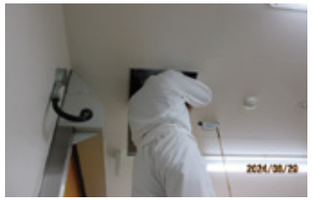


AIBフードセーフティについて

安全・安心な食品を製造するため、湖池屋では、2008年よりAIBフードセーフティ指導・監査システムに基づいた取り組みを推進しています。

AIB Food Safety System









清掃活動

［日常清掃の実施］

日勤のラインや交代勤務のライン等、生産終了時には自動洗浄機や温水での洗浄も含め、清掃手順書に基づきしっかりと清掃を行っています。

［定期清掃の実施］

マスタークリーニングスケジュールを作成し、定期的に全工場ラインを停止し本格的な清掃を実施しています。普段、清掃が困難な高所や生産機械の奥まで徹底的に清掃を行っています。

有害生物の管理

飛翔性昆虫、歩行性昆虫、そ族などの有害生物に対し、毎月のモニタリングおよび週1回の点検から対策を講じ、食品への危害をなくすべく努力を行っています。

異物混入対策

HACCPの導入により、衛生管理の強化と安全性の確保を行っています。特に設置されている金属検出機を重要管理点とし、より厳しく管理しています。

アレルゲン混入対策

アレルゲン物質が含まれるシーズニング等の原料については、含まれているものとそうでないもの、また、含まれているアレルゲンの種類ごとに分けて管理する等の対策を実施しています。

食品安全の国際認証である「FSSC22000」を取得

株式会社湖池屋 関東工場（第二工場、第三工場含む）及び京都工場とならび、九州阿蘇工場においても食品安全の国際認証であるFSSC22000を取得しました。

登録範囲：スナック菓子の製造　　認証機関：ビューローベリタスジャパン株式会社

FSSC22000 認証 関東

登録事業所	株式会社湖池屋 関東工場、関東第二工場、関東第三工場
認証番号	16432581
最終認証日	2024年4月11日

FSSC22000 認証 京都

登録事業所	株式会社湖池屋 京都工場
認証番号	17005724
最終認証日	2024年4月11日

FSSC22000 認証 九州

登録事業所	株式会社湖池屋 九州阿蘇工場
認証番号	16190747
最終認証日	2024年5月27日

FSSC22000は、GFSI（世界食品安全イニシアチブ）が認める食品安全規格の一つです。食品安全のマネジメント規格であるISO22000に、食品事業向け衛生管理プログラムである前提条件プログラムのTS22002-1と、食品防御や食品偽装の軽減などが盛り込まれた追加要求事項を加え、構成されています。FSSC22000認証を取得・維持し、食品安全マネジメントシステムを構築することにより、永続的に安全な商品を提供し続ける仕組み作りを目指し、企業理念にもある「常に安心できる商品を提供し、地球環境、人々の健康、社会貢献を心掛ける」を推進して参ります。

国産じゃがいも100%のこだわり

国産芋の魅力を活かした商品開発

1962年の「湖池屋ポテトチップス のり塩」の発売より、湖池屋は日本のポテトチップスの老舗として、60年以上にわたり、国産のじゃがいもでポテトチップスを作り続けてきました。日本のポテトチップスをさらに進化させるべく、湖池屋は新たな挑戦を続けていきます。



国産のブランド芋の魅力を活かした商品開発

日本では、各地域ごとに様々な品種のじゃがいもが生産されていて、それぞれの品種が異なる個性と魅力を持っています。
湖池屋では、北海道産ブランド芋のおいしさを食べくらべていただきたいとの思いから誕生した「ピュアポテト ブランド芋くらべ」シリーズや、北海道の今金町とせたな町で作られる幻のじゃがいも“今金男しゃく”を使用した「今金男しゃく ポテトチップス」、長崎県で育てられた希少じゃがいも“ながさき黄金”を使用した「ながさき黄金ポテトチップス」等、これまで培ってきた技術やノウハウを活用し、ブランド芋の魅力を活かした商品を多数展開しています。



商品を通じたSDGs活動

湖池屋は、豊かな社会の実現とその持続に貢献するため、
協賛会社として運動に参加しているベルマーク教育助成運動をはじめ、
様々なお菓子を通じた社会貢献活動に取り組んでいます。



国連WFP協会への協力

湖池屋は「食」に携わる会社として、飢餓のない世界を目指すという国連WFP協会の理念に賛同し、2012年より継続して協力をしています。国連WFP協会が主催するチャリティーイベントへの参加や、商品を通じた寄付の実施等、様々な取り組みを行っています。

【レッドカップキャンペーン】

「レッドカップキャンペーン」とは、国連WFP協会が取り組む途上国の子どもへの学校給食支援に、毎日のお買い物で参加することができるキャンペーンです。湖池屋はこの取り組みに賛同し、「ポテトチップス のり塩　5個パック」の売上の一部を国連WFP協会に寄付しています。

飢餓から救う。未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画


ポテトチップス　のり塩　5個パック

【ウォーク・ザ・ワールド】

本イベントは、途上国の子どもたちの飢餓をなくすために、国連WFP協会が開催するチャリティーウォークです。2025年は、アフリカの子どもたちに給食を届けることを目的として開催されました。湖池屋は、社員同士の親睦や健康促進も兼ねて、毎年当イベントに参加しています。


© WFP/Mayumi Rui



ベルマーク教育助成運動

湖池屋は、お菓子を通じて広く教育に貢献するため、教育助成運動であるベルマーク運動に賛同し、1977年から45年以上にわたり協賛会社として運動に参加しています。一部製品にはキャラクターデザインのベルマークを掲載する等、湖池屋商品に親しみを感じ、楽しみながらベルマークを集めていただけるような工夫も施しています。

湖池屋の商品に付いているベルマークの例



食べ終わった後にベルマークが切り取りやすいよう、パッケージの上部に配置しています。



ベルマーク累計寄付金額　約3億9,000万円

バイオマスマーク

湖池屋では、パッケージのインキの一部に植物由来の原料を配合したものを用いた製品があります。該当製品には、パッケージの裏に生物由来の資源（バイオマス）を活用し、品質及び安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品の目印である、「バイオマスマーク」を表示しています。

バイオマス
No.200110

使用している
インキの一部には、
植物由来の原料を
配合しております。

ピュアポテトの森

湖池屋では、環境活動の一環として北海道南富良野町の町有林において森林保全活動を実施しています。森林保有しているエリア一帯は、じゃがいもの一大産地である“北海道”で生まれたブランド『ピュアポテト』の名前を使用して、『ピュアポテトの森』と名付けました。間伐や下刈り、除伐などといった森林整備を繰り替えすことで、循環型の森林を目指しています。

近年森林整備の過程で発生した「間除伐材」が有効利用されずに廃棄されてしまう事例が発生しています。湖池屋では、より多くの方と共に健やかな森づくりを行いたいという想いから、これらの間伐材を「ピュアポテトの森」オリジナルグッズに再利用して間伐材の魅力を伝える、「ピュアポテトの森」を森林教育の場として提供する等、様々な活動を実施しています。今後も湖池屋は、【森でくらしをゆたかに】というテーマの下、循環型の森づくりを通じて、「ピュアポテトの森」を健やかに育んでいきます。

■コースター　■アロマウッド



【 名　称 】ピュアポテトの森
【 場　所 】南富良野町（町有林）
【 面　積 】1.82ha
【契約期間】2010年8月9日～ 2026年12月31日



湖池屋 SDGs 劇場「サスとテナ」

子どもから大人まで世代を超えてSDGsやサステナブルに関する意識が高まる中、湖池屋はSDGsを複雑で難しいものとして捉えるのではなく、身近なものとして、楽しみながら取り組んでいただきたいと考え、SDGsをテーマにしたアニメーション 湖池屋SDGs劇場「サスとテナ」を2021年より制作・配信しています。
本作品のコンテンツを活用した社会貢献活動も積極的に実施しており、これまでに板橋区立赤塚小学校での出前授業等を実施してきました。2023年度には小学5年生の子どもたちに、湖池屋SDGs劇場「サスとテナ」に登場するSDGsの課題をテーマとしたキャラクター “SDGs怪獣”を考案・発表していただくことで、クラスメイトと楽しみながらSDGsについて考えていただきました。







防災スナックの開発「KOIKEYA LONG LIFE SNACK」

災害時等に求められる新しい食の形として、5年間保存可能な「KOIKEYA LONG LIFE SNACK」シリーズを2021年より販売しています。
その他にも「いたばし防災+フェア」でのサンプリングや、自治体・学校への寄贈等、「KOIKEYA LONG LIFE SNACK」を通じて様々な社会貢献活動を実施しています。
本商品は、保存や備蓄だけでなく、普段の生活やアウトドアでのシーンにも役立つ“フェーズフリー ”な商品としても注目されており、一般社団法人 防災安全協会が主催する「災害食大賞©2023」においては「缶詰部門　最優秀賞」を受賞しました。



災害食大賞©2022「パッケージデザイン賞」
災害食大賞©2023「缶詰部門最優秀賞」受賞

湖池屋 ×MISIA

アフリカの子どもたちへの教育支援や、子どもたちの医療支援などの社会貢献活動に積極的に取り組むMISIAさんの考えに湖池屋も共感し、MISIAさん本人が大好きなポテトチップスを通じた社会貢献活動に取り組み、発信するべく、コラボ商品「アイノポテチ」が誕生しました。1袋からできる社会貢献を通じた愛の輪を広げたいという両者の思いから、1袋あたり1円を国立成育医療研究センターの「アイノカタチ基金」に寄付し、ポテトチップスというカタチで子どもたちにサポートを届けます。

アイノカタチ基金

「アイノカタチ基金」とは、東京・世田谷区の国立成育医療研究センターが設立した基金。この基金は、先進的な医療への支援や子どもたちの療養環境の整備などに使われています。基金の名称はMISIAの楽曲「アイノカタチ」に由来しています。



2025年MISIAライブ会場、MISIA公式オンラインショップ、湖池屋オンラインショップにて発売

湖池屋プライドポテト 日本の神業

「日本の誇り」である風土・文化やそれが生み出す素材を「湖池屋プライドポテト」に込めて発信するプロジェクトとして、2018年2月に「湖池屋 JAPAN PRIDEプロジェクト」が始動しました。
2024年からは、世界から注目を集める“日本産食材の魅力”を支える匠の技と情熱の結晶である“日本の神業”を中核とした「湖池屋プライドポテト 日本の神業」シリーズとして新たに展開しました。

「Save the Sea」活動を推進

宗像の海をはじめとする豊かな自然を守る「Save the Sea」活動を地域の皆様とともに推進するべく、宗像市地島での海岸清掃活動に協力しています。



金沢パッケージ総選挙

金沢美術工芸大学の学生が考案したデザインの中から、一般投票により新商品のパッケージを決定する『プライドポテト 日本の神業 金沢デザイン総選挙』を実施しました。金沢美術工芸大学の学生たちがデザインで表現した金沢を湖池屋だけで選ぶのではなく、金沢市の方々を始め、金沢への想いのある全国の方々と一緒に選ぶことで、改めて金沢の魅力に気づき、新たな金沢の魅力を全国へと広げていきたいと考えています。

入賞作品



「プライドポテト 日本の神業 金沢 総選挙」で選ばれた、金沢美術工芸大学ホリスティックデザイン専攻3年大竹恵祐さんの作品（左）と金沢美術工芸大学 ホリスティックデザイン専攻3年山田陽菜さんの作品（右）

地域ごとの取り組み

プライドポテト KOIKEYA PRIDE POTATO

宗像

- 海の環境保全
- 自然遺産の保護
- 世界遺産の認知拡大



小豆島

- オリーブ認知拡大
- 観光客誘致



熊本

- 熊本産品の認知拡大
- 畜産農家の応援
- 雇用創出（九州阿蘇工場）



神戸

- 畜産農家の応援
- 日本ブランドの継承



京都

- 府内農林水産物の消費拡大を支援
- 伝統文化財の保全を支援



金沢

- 金沢の伝統文化と現代アートの振興
- 学生の職業的スキルの向上



岐阜

- 雇用創出（中部工場）
- 畜産農家の応援



北海道・北東北

- 世界文化遺産の認知拡大保全を支援



地域の方々との取り組み

湖池屋はお客様の日々の暮らしに寄り添い、地域の方々を巻き込みながら、
社会・地域に貢献できる活動を積極的に展開していきます。

湖池屋 × 埼玉県加須市
子育て支援に関する取り組み

湖池屋関東工場所在地である、埼玉県加須市の子育てフードドライブに1回あたり約4,800袋の湖池屋スナックの寄付を実施しています。子どもへの食事や学習、遊びの場などを提供する「子ども食堂」やひとり親世帯等の子育て中に食品支援が必要な家庭に加須市を通して届けられています。また、まちづくりの一環として、関東工場の最寄駅である加須駅南口ロータリーにて、定期的に植栽活動を行っています。



湖池屋 × 京都府
地域活性化包括連携協定に関する取り組み

2023年7月、湖池屋京都工場所在地である京都府と地域活性化包括連携協定を締結しました。「京都府産農林水産物を使用した商品の開発・販売」をはじめ、子育て・災害対策・環境保全など様々な側面において連携することを協定概要としています。2025年10月には、京都府立京都すばる高等学校 起業創造科と共同開発した「京都カラムーチョ しば漬けタルタル」を全国発売しました。



湖池屋 × 岐阜県海津市
中部工場を新設

2025年12月、湖池屋として初の中部エリアでの生産拠点となる「湖池屋 中部工場」の稼働を開始しました。完成記念式典には岐阜県知事および海津市長にもご出席いただき、地域経済の活性化や雇用創出、観光需要の取り込みに大きな期待をいただきました。



食育への取り組み

湖池屋は、「食でくらしをゆたかに。」という思想のもと、お客様の健やかな食生活の実現
を目指し、世界中で食の大切さや楽しさをお伝えする活動を展開しています。

ぽてち研究所

「ぽてち研究所」とは小売業店内やイベントスペースで行うお子様向けの食育イベントです。ポテトチップスについての学習と試作体験を提供し、小売業と連携しながら食育活動の推進を図っています。

【ぽてち学習】 ポテトチップスの誕生秘話や原料であるじゃがいもの品種や育て方、ポテトチップスの生産工程について動画やクイズで紹介し、楽しみながら学ぶことができます。

【試作体験】 湖池屋秘伝のレシピをもとに原料を調合し、味付け前のポテトチップスに実際に味を付けて自分だけのオリジナルポテトチップスを作ることができます。



海外での食育活動

当社が事業展開しているベトナムやタイでは、経済的に恵まれない子どもたちが数多く存在します。そこで湖池屋では、ベトナム及びタイのストリートチルドレン支援団体や公立小学校に商品を寄贈するとともに、子供たちに対する食育活動を行っています。食を通して子供たちの支援を行うことと食育活動を統合することにより、成人した後の食生活にも好影響を与える一助になるような取り組みを行っています。

【ベトナム】 ホーチミン市のストリートチルドレンの支援団体に対して、商品の寄贈と食育イベントを実施。商品寄贈は約8,000 ～ 10,000袋にのぼります。また、ポテトチップスが出来るまでの生産工程や栄養バランスの重要性を子どもたちに紹介するとともに、プレーンのポテトチップスから自分の好きな味付けをしてオリジナルのポテトチップスを作るイベントなどを実施しました。



環境への取り組み

湖池屋は、環境保全を意識した企業活動に取り組んでいます。
持続可能な自然環境保全のため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、容器包装改善など、
様々な取り組みによって環境負荷の低減に努めています。

地下水涵養事業への協力

湖池屋九州阿蘇工場では、熊本都市圏（11市町村）が独自に実施している地下水涵養事業に賛同し、地下水涵養事業を行っています。
緑地の雨水浸透および、水田湛水事業への協力等、地下水を将来にわたって守り継いでいくために、今後も熊本都市圏と連携・協働しながら様々な取り組みを実施してまいります。





省エネ設備機器の導入によるCO_2の削減

湖池屋では、地球温暖化の原因であるCO_2排出量削減のために、灯油から都市ガス・天然ガスへ転換しました。また、各工場にガスコージェネレーションシステム（自家発電設備）や太陽光発電を設置し、新たに設立された中部工場にも太陽光発電を設置しました。今後も省エネルギー設備の導入を計画的に進めていきます。



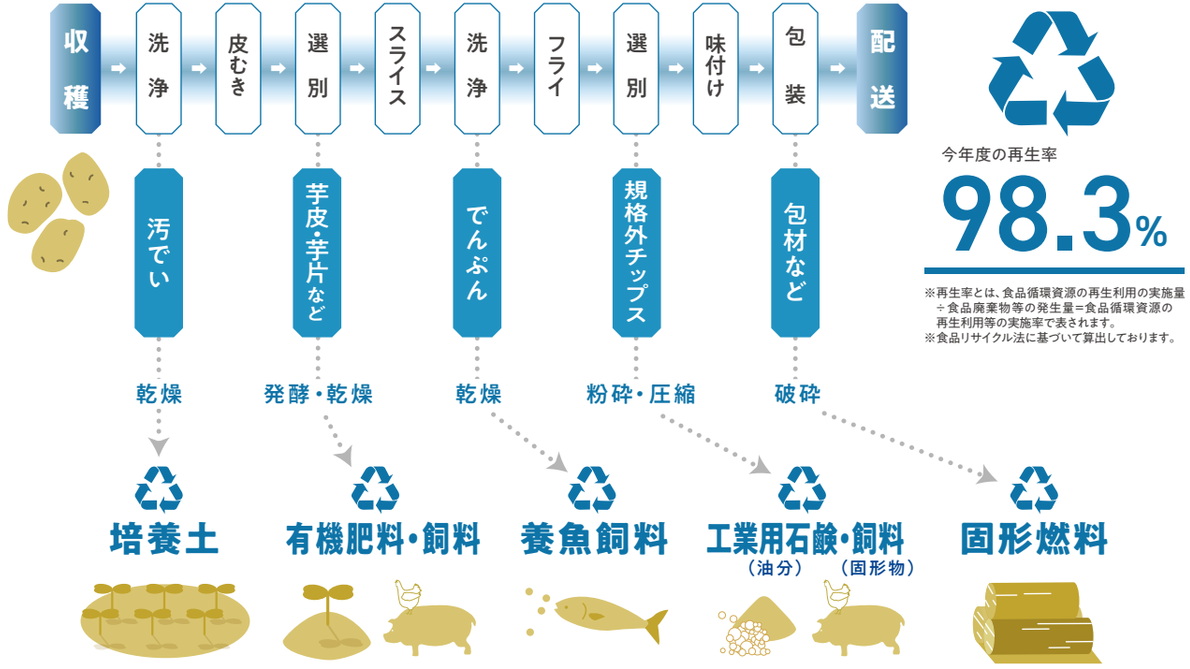
液化窒素タンク



ガスコージェネレーションシステム

ポテトチップスができるまでとリサイクル

ポテトチップスができるまでには、いろいろな廃棄物が発生します。
食品廃棄物や中間生成物は、可能な限り再生利用に取り組んでいます。



今年度の再生率

98.3%

※再生率とは、食品循環資源の再生利用の実施量÷食品廃棄物等の発生量＝食品循環資源の再生利用等の実施率で表されます。
※食品リサイクル法に基づいて算出しております。



じゃがいもを選別する工程



スライスしたじゃがいもの洗浄



ポテトチップスの選別



ポテトチップスの味付け

環境への取り組み

湖池屋は、環境保全を意識した企業活動に取り組んでいます。
持続可能な自然環境保全のため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、容器包装改善など、様々な取り組みによって環境負荷の低減に努めています。

事業別環境データ

温室効果ガス排出

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
関東工場	17,742	18,078	19,976	20,726	19,670	-	t-CO2
京都工場	10,016	10,108	11,445	12,061	12,803	-	t-CO2
九州阿蘇工場	1,466	2,916	3,475	3,012	4,197	-	t-CO2
中部工場	-	-	-	-	1,246	-	t-CO2
本社・営業所	285	286	293	249	317	-	t-CO2
物流・配送	1,508,077	1,531,886	1,706,786	2,208,989	2,181,035	-	l
	3,891	3,952	4,404	5,699	5,627	-	t-CO2
営業販売関連	133,942	143,821	156,695	156,412	129,022	-	l
	311	334	364	363	299	-	t-CO2

エネルギー

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
電気	19,681	21,331	20,398	21,724	21,672	国内連結	千kWh
液化石油ガス(LPG)	334	754	838	963	1,104	国内連結	t
液化天然ガス(LNG)	2,968	2,894	3,290	3,412	3,650	国内連結	t
都市ガス	5,737	5,816	6,208	7,355	6,867	国内連結	千m3
揮発油	39	40	48	48	42	国内連結	kl
灯油	9	8	14	7	8	国内連結	kl
軽油	1.0	1.0	0.4	1.0	2.0	国内連結	kl

水

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
水道水(工場)	9,605	12,892	19,974	15,124	18,870	国内生産拠点	㎥
井水	696,029	742,921	975,165	962,704	908,814	国内連結	㎥

※本社及各事務所の水の使用量は除く

資源と廃棄物

原料仕入量

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
馬鈴薯	105,764	111,630	128,887	141,381	119,307	国内連結	t
主原料	5,710	6,917	8,053	7,619	7,988	国内連結	t
副原料	2,196	2,271	2,718	2,984	2,881	国内連結	t

材料仕入量

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
紙	350	499	562	439	264	国内生産拠点	t
段ボール	11,735	12,505	14,760	15,797	15,930	国内生産拠点	t
フィルム	3,455	3,744	4,517	4,872	4,802	国内生産拠点	t
その他	15.9	10.3	16.4	16.7	5.3	国内生産拠点	t

食品廃棄物

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
食品廃棄物発生量	7,747	8,966	9,949	12,944	13,781	国内生産拠点	t
食品循環資源の再生利用実施量	7,501	8,745	9,710	12,644	13,519	国内生産拠点	t
食品循環資源の再生利用等以外の実施量	213	199	204	234	252	国内生産拠点	t
食品廃棄物処分量	33	22	35	66	10	国内生産拠点	t
再生利用実施量	98	98	98	98	98	国内生産拠点	%

業績データ

	2021	2022	2023	2024	2025	範囲	単位
売上高	30,395	44,574	54,829	59,383	61,156	連結	百万円
経常利益	1,142	1,807	3,490	4,017	3,773	連結	百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	758	1,164	2,208	2,590	2,594	連結	百万円
1株当たり当期純利益	142.24	109.2	207.02	242.81	243.24	連結	1株当たり当期純利益(円)

従業員との関わり

湖池屋は、「おいしさ」と「楽しさ」を提供するため、社員の自主性を尊重し、
各自の個性や能力を活かしながら、チームでワクワクとやりがいをもって働ける
職場環境作りを目指しています。

湖池屋人財ポリシー

湖池屋は、社員一人ひとりを経営上のかけがえのない財産と考え、社員の成長がお客様への価値提供に繋がるものと考えています。社員が自律的にチャレンジする組織風土を醸成し、ワクワクと働ける環境を整備することに努めます。

人材は大切な財産～人財

- 社員一人ひとりは湖池屋の経営上のかけがえのない存在である
- 社員の成長が会社の成長につながると考える

自律性を高める人財育成

- 社員は自ら成長・発展することを望み、会社は社員の個性や能力を完全燃焼できる場を積極的に提供する

社員一人ひとりへの期待・役割の明確化

- 会社は社員一人ひとりに対し、絶えず仕事の価値を高めるよう会社の目的・目標を示し、期待するミッション・役割を明確にする

チャレンジを推奨する公正な処遇

- チャレンジし成果を出した社員に対しては、積極的な機会を与える抜擢人事を行い、さらなる飛躍を促す
- 失敗から再チャレンジのための機会を提供し、リカバリー可能な配置異動も行う

社員がワクワクと働くことができる湖池屋

- 社員は自由闊達に意見を出し合い、チーム内で切磋琢磨しながら、目標達成に向けて行動していく
- 社員は多様性を受容し、自身を内省し、高い倫理観を持つ努力をする
- 社員一人ひとりの自主性・創造性が発揮でき、ワクワクと働くことができる湖池屋を目指す

01　ダイバーシティ

湖池屋では、年齢・性別・能力・価値観等にとらわれず、多種多様な社員一人ひとりの個性を活かし、イノベーションを生み出す組織を構築できるよう、様々な取り組みを行っています。

採用

多様な価値観を尊重し、未来を拓く人財を採用しています。具体的には、様々な職種を横断的に経験するジェネラリスト職地域に根差し共に成長するエリア限定職、将来の経営層を担うリーダーなど、新卒・中途問わず多角的な知見で組織の持続的成長を目指します。また、海外現地法人との人財交流や特定技能などの外国人雇用も積極的に行い、社内のグローバル化に着手しています。

人財育成

年功序列を廃し、年齢や経験を問わず誰でもチャレンジできる人事制度を導入しています。湖池屋では成果だけではなく、チャレンジする姿勢を評価する評価制度をとっており、各個人の主体的な挑戦を後押ししています。毎年、チャレンジが認められた社員は年間MVPとして表彰されます。また人の育成においては、それぞれの職域に応じた研修に加え、管理職には360度サーベイ、中堅・若手には定期的なジョブローテーションとプロジェクトのアサインを行い、常に成長を促す場を設けています。さらに、部署を超えて社員同士が交流できる場として「ナナメの1on1ミーティング制度」を導入しており、普段の業務では得られない対話の中から気づきを促し、成長を加速させる体制も構築しています。

副業

湖池屋では、個人のスキルアップやキャリア形成、豊かな創造性を養うことを目的とし、社員の副業を認めています。
社員の自律性・自主性を促すとともに、社内では得られない知識やスキルを獲得することで、社員の能力開発およびイノベーション推進につながると考えています。

キャリア選択

職種は自己成長をするための手段と考え、特にジェネラリスト職の新卒においては様々な職種を若いうちに経験してもらうことを推奨しています。多様な経験から得た知見を、自己実現の糧とし、会社に、そして社会に貢献する人財になることを目的としています。一方で、育児・介護等、ライフイベントに応じて、職群の転換をすることも会社と相談の上選択することも可能です。湖池屋では長く働くための体制を整えています。

03　教育研修制度

湖池屋では、それぞれの職域に応じた研修の実施や、社員が自律的に学べるeラーニング・通信教育講座の導入により、社員の成長や活躍を支援するための体制を構築しています。

職位別研修	入社時	● 新入社員研修　● 新入社員フォロー研修　● 中途入社社員研修
	若手向け	●思考力強化研修　● 動機づけ研修
	管理職向け	● 人事戦略、人財マネジメント研修　● 会計の知識研修
	全社員向け	● 自己啓発奨励制度　● 通信教育　● eラーニング　●コンプライアンス研修
職種別研修	営業部門	● 営業マネジメント研修　● 営業力強化研修　● 営業力提案力強化講座
	企画・開発部門	● マーケティング研修　● メタマーケター養成ワークショップ
	生産部門	● 製造強化研修

04　The 湖池塾

『The 湖池塾』は、湖池屋の事業理解を深めるとともに、従業員がこれまで培ってきたキャリアやスキル、知識、経験などを学び、自身の業務やキャリア形成に活かすことを目的としています。また、従業員同士のつながりを深めることも重要な目的とし、参加者同士のクロストークも実施しています。

The 湖池塾



05　福利厚生制度



湖池屋では仕事とプライベートの両立を図る各種福利厚生制度があります。

出産・育児関連制度

産前・産後休暇はもちろんのこと、育児休暇やこども休暇の取得が可能です。その他、子の看護等休暇制度があります。復職後は時短勤務ができ、前年度の女性の育児休暇取得率・復職率は100%です。近年では、男性の育児休業取得率も向上しています。

休暇

完全週休二日制。有給休暇に加え、夏季・年末年始休暇、慶弔休暇、介護休暇、引っ越し休暇などがあります。また社員の有休取得を促進するため、有休取得推奨日を設定しています。
なお、有給休暇の付与について、入社時に14日の付与をしております。

手当

就業面においては、通勤手当や寮・社宅制度、異動時の赴任時一時金などがあります。また、社員のチャレンジに対して、自律的能力開発者には自己啓発奨励制度として、資格試験や語学検定などの費用補助を行っています。他にも工場勤務の社員は、交替勤務手当や特殊技能手当などがあります。

健康施策

毎年の健康診断の実施や人間ドックの費用補助を行っています。また、湖池屋本社や工場にある社員食堂では、低価格でバランスの取れた食事を取ることができます。その他にも、全事業所の女性用トイレに緊急時に備えて生理用品を無償設置したり、ココロとカラダの健康づくり計画のもと、健康相談窓口を設置しており、社内での悩み・課題の相談に限らず、仕事への向き合い方や自分の強みや弱みの見つけ方、プライベートのことなど、幅広く相談できる窓口があります。
2025年度より、4大がん検診に対する会社補助を開始し健康診断の充実を図っております。

こども参観日・工場見学・湖池屋GOGO!ファクトリーマイポテチ体験

本社では「こども参観日」、工場では工場見学や湖池屋GOGO!ファクトリーでのマイポテチ体験など、従業員の家族が湖池屋の事業や仕事への理解を深める機会を設けています。

その他の制度

ETC

ベネフィットステーション・従業員持株制度・確定拠出年金・カジュアルデー・フリーアドレス・テレワーク・フレックス制度

湖池屋の企業情報

従業員数	1,172名（2026年3月31日現在）
資本金	2,269百万円
連結売上高	61,156百万円（2026年3月期）
工場拠点	関東工場　関東第二工場　関東第三工場 京都工場　九州阿蘇工場　中部工場 シレラ富良野（JAふらの業務委託）

株式会社湖池屋

湖池屋本社　〒175-0094
東京都板橋区成増五丁目9番7号

原宿本社　〒150-0001
東京都渋谷区神宮前六丁目17番11号
JPR原宿ビル8階